

## 第2回市政懇談会報告



# 市の主要施策で 活発に意見交換

市は1月30日から2月7日まで、市内各自治区で本年度2回目の市政懇談会を開催しました。今回は「岩手競馬への融資」「市総合計画案」「市行財政改革大綱実施計画案」の当面する市の3つの主要施策に関し、市民と相原正明市長らが意見交換を行いました。5会場合わせて519人と、7月に開いた前回と比較して参加者がやや減ったものの、参加した市民からは次々と意見や質問が出され、これらの施策に対する関心の高さがうかがわれました。

## 岩手県競馬組合への融資について

### 意見・質問

競馬組合を再建することが地域にとって本当にプラスになるか。子どもたちへの影響を考えれば、思い切って廃止してもよいのでは。

【回答・相原市長】岩手競馬は、昭和39年に始まりました。地方自治体が競馬を行うのは、競馬

事業から利益を上げ、道路を作ったり、建物を建てたりするのが目的でした。これまで約400億円の益金があり、競馬組合の構成団体である県に55%、旧水沢市に25%（101億円）、盛岡市に20%が配分されてきました。

現在では赤字のため配分ができない状況であり、廃止すべきという議論が当然出ています。しかし、競馬組合の新しい改革計画では、これ以上赤字が出たら廃止という仕組みを作った上で、構成団体が債務を一時肩代わりして利子負担を軽くしようというものです。

競馬に対する好き嫌いはありませんし、倫理観などからどうしてもなじめない人もいるかと思いますが、協力していただける人には協力をお願いし、売り上げ拡大につなげたいと考えています。「財政的な貢献があるならば」との考えでも結構だと思います。

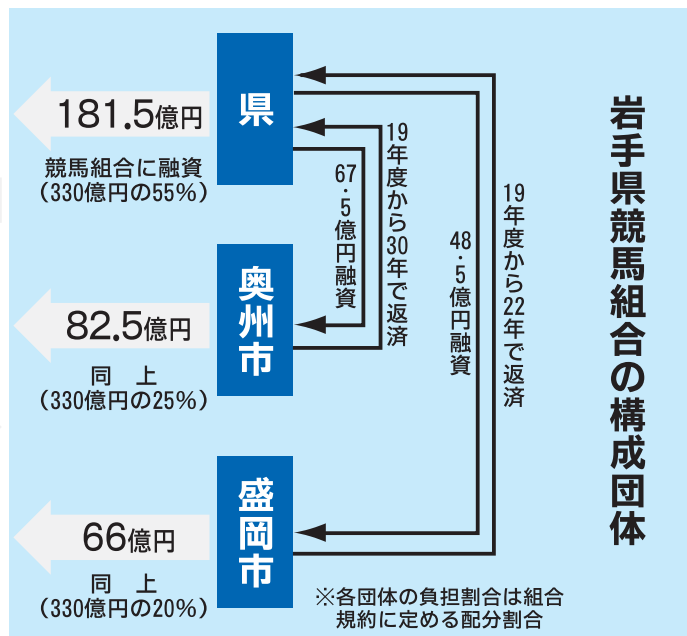
青少年健全育成のための環境浄化については、配慮が必要だと思います。

### 意見・質問

決算の内容によって廃止もあり得るとあるが、どの程度の赤字なら廃止するのか。スルスル引き延ばすのはやめてほしい。

【回答・相原市長】存続・廃止

### 岩手県競馬組合の構成団体



### 意見・質問

県内に競馬場2つはいいないし、巨額な赤字の原因となった盛岡競馬場のことを考えると、盛岡市の負担割合が低いと思う。また、競馬組合が廃止された場合の処理はどうなるのか。

### 意見・質問

競馬を存続させていくために、既存ファン、新規ファンをどのようにして拡大させていくのか。

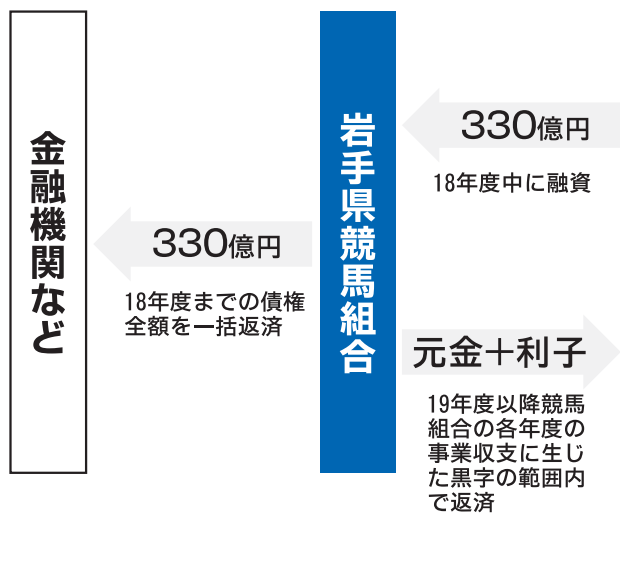
【回答・相原市長】昨年12月暮れから競馬場の入場者が予想を上回るようになりました。最近

年に廃止」を例に取れば、テレトラックを残し、中央競馬の中心継をしたり、馬券を購入したりできる施設にしている方法があります。

また、競馬組合が所有する土地や建物、物品の帳簿価格が約310億円あり、これらの売却を含めた清算整理が必要になってきます。

「競馬場への行き方や馬券の購入の仕方が分からない」というようなこともあるでしょうから、市民による奥州競馬サポートクラブを立ち上げました。このようなことも含め、県全体や盛岡市でも、やれることをやっていこうというつもりです。

## 県競馬組合への融資の仕組み



### 金融機関など

【回答・相原市長】競馬場が2カ所はいいないという強い議論がありますが、現在の競馬組合の体力を見ると、一場化では経営が立ち行かなくなると考えられます。このまま継続するのが費用的に良いと判断しています。盛岡競馬場整備に関する負担については、県が主導した経緯はありますが、競馬組合規約には県と両市の負担割合が定められています。



### 増田知事が市民に説明

不退転の決意で競馬再生に取り組むことを表明する増田知事

明日の岩手競馬を考える県民フォーラムが本市を皮切りに県内6カ所で開かれました。本市では2月10日、市文化会館で250人余りが参加し、競馬組合改革計画の説明や有識者によるパネルディスカッションが行われました。組合管理者の増田寛也知事は、新しい計画が奥州市財政や地域経済への影響を最小限に抑える方策と説明し、理解を求めました。